

Weekly Report 2022-2023



創 立 1969年4月14日
認 認 1969年4月23日
チャーターナイト 1969年11月9日
発 行 I T・広報委員会

会長：遠藤直樹 / 幹事：鈴木雅博 / 会長エレクト：磯崎裕祐 / 副幹事：吉岡哲哉 / S.A.A：吉本委子

今週のプログラム		第 2537 回	12月2日
(昼例会) 誕生日卓話：木内泰宏会員			
担当者	プログラム委員会		例会場 JRホテルクレメント高松

先週のプログラム		第 2536 回	11月25日
第12回ガバナー杯野球大会前夜祭			
担当者	プログラム委員会		例会場 高松国際ホテル



遠藤会長挨拶



鈴木幹事報告



岡田大会実行委員長



来賓講話：長尾監督

遠藤会長挨拶

・今年6月に、ガバナー杯野球大会のホストクラブに任命されて以来、野球部、親睦委員会を中心に準備を進めて参りました。ようやく、今日に至り開催出来ること非常に嬉しく思います。ご多用中の中、西原香川県副知事様、大西高松市長様、並びにご来賓の方々、また2670地区でご参加いただきました野球部の皆様、多数ご出席賜り誠にありがとうございます。

最近では、コロナウイルスの第八波に依る感染拡大もあり十分な対策をと思い、会場もこちらのホテルで一番大きいところに変更しました。

また、同じ野球部の集まりということでお役に立てたらと、今年の夏も我々香川県民を楽しませてくれました、高松商業の長尾監督にお越しいただいております。ジャイアンツに入団されました同校の浅野選手の恩師でございます。

この後、お話をいただきますので楽しみにして下さいませ。明日、明後日は試合です。怪我がないように祈っております。

最後に、行き届かない点多々有ろうかとは思いますが、そこはロータリーの寛容な精神でご容赦頂けたらと思っております。

本日は、誠にありがとうございました。

メイクアップ

- 11月22日 高松東RC 村上 低田 近藤
- 11月22日 高松中央RC 江島 藤田
- 11月22日 坂出RC 入谷
- 11月23日 2720 Japan O.K. ローターEクラブ 大島
- 11月24日 高松RC 藤田

出席報告		出席委員長：大西一正	
会員数 /	45名	出席規準数 /	43名
出席者数 /	30名	欠席者数 /	13名
出席率 /	69.77%	ビジター /	0名
最終出席率 /	11月11日	47.62% →	59.52%

12月2日 今日は何の日	今日生まれの有名人
安全剃刀の日/原子炉の日/全国防火デー 1804年 ナポレオン戴冠式 1990年 秋山豊寛が日本人初の宇宙飛行	2114年 ドラミちゃん 1936年 山崎努 1971年 松嶋尚美 1918年 高峰三枝子 1943年 太地喜和子 1859年 スーラ
誕生花 セントポーリア、花言葉は“小さな愛”	
誕生石 ダイヤモンド(diamond)、宝石言葉は“清浄無垢”	

我等の生業

我等の生業さまざまなかれど
集いて図る心は一つ
求るところは平和親睦
力るところは向上奉仕
おおロータリアン 我等の集い



出席報告		出席委員長：大西一正	
会員数 /	45名	出席規準数 /	43名
出席者数 /	30名	欠席者数 /	13名
出席率 /	69.77%	ビジター /	0名
最終出席率 /	11月11日	47.62%	→ 59.52%

ニコニコBOX	
野球部のカントクは心から歓迎申し上げます。	石川
お忙しい中、多数ご参加頂き誠にありがとうございます。	遠藤
娘が嫁に行きました。ちょっぴり複雑な心境です。	鈴木
合計 3 件	
本日の合計	30,000円
2022-2023年度累計	388,000円

12月誕生日の樹	
3日 浅原尚彦 会員 イイギリ(飯桐)	
9日 島谷 隆 会員 セイヨウイワナンテン 'レインボー'	
23日 木内泰宏 会員 トウジバイ(冬至梅)	
記念樹	— 記念日と誕生日365日の+1の樹 — 財団法人経済調査会発行より

野球部より

国際ロータリー第2670地区・第12回ガバナー杯野球大会
2022年11月26日(土)～27日(日)

優勝
中村 RC

優勝: 中村 RC
準優勝: 丸亀 RC
第三位: 阿波徳島 RC
第三位: 高知中央 RC

◇試合球場 11月26日(土) レクザム ボールパーク丸亀 (丸亀市民球場)
高松市牟礼中央公園運動センター・グラウンド
11月27日(日) レクザム ボールパーク丸亀 (丸亀市民球場)

facebook

facebook でたくさんの写真を公開していますのでぜひご覧ください。
<http://www.facebook.com/TakamatsuWestRC>

ロータリー特別月間 (12月)

疾病予防と治療月間
(Disease Prevention and Treatment Month)

2014年10月RI理事会は、12月を重点分野:「疾病予防と治療月間」とした。地域社会の医療従事者の能力向上、伝染病の伝播を食い止め、非伝染病とそれによる合併症を減らすための、疾病予防プログラム、地域社会の医療インフラの改善、疾病の蔓延を防止することを目的とした、地域住民への教育と地域動員、疾病またはケガによって引き起こされる身体障害の予防、疾病予防と治療に関連した仕事に従事することを旨とする専門職業人のための奨学金支援を強調する月間である。

RI会長からのメッセージ (12月)

世界的疾患との闘いと希望
2022-23年度国際ロータリー会長
ジェニファー・ジョーンズ

ザンビアの首都ルサカの郊外で、ロータリーのリーダーたちと会った際に、私はこう尋ねました。「マラリアにかかったことのある方はいますか」。すると全員の手が挙がりました。しかもマラリアにかかった1度目、2度目、3度目の経験について話し出したのです。マラリアは多くの開発途上国において、病気と死亡の主因の一つになっています。

しかしこの方々は恵まれた人たちです。医療を受けられて、命を救う薬を手に入れられたのですから。ザンビアの農村部に暮らす方々とは、状況が全く異なります。

私は小さな農村を訪れ、木のベンチに腰かけて、ティモシーとその若い息子のネイサンと話しました。カメラクルーがこの様子を撮影中、ネイサンにマラリアの兆候が現れた時のことをティモシーが話してくれました。近所の医療従事者の家にすぐに連れていき、そこでもらった薬でネイサンは、一命を取り留めたそうです。

ティモシーはまた、数年前に別の息子がマラリアにかかったことを静かに話し始めました。その時は、子どもを抱えて8km以上離れた診療所へと駆け付けなくてはなりませんでした。その子を背負って自転車をこいでいた時に、息子の足が冷たくなって小さな体から力が抜けていくのを感じたと言います。ようやく診療所にたどり着き、助けを求めて叫びましたが、もう手遅れだったそうです。カメラは撮影を止め、その場が静まり返りました。嗚おえつ咽しているティモシーを私はしっかりと抱き締めました。「息子を亡くした。息子を亡くしました」と、彼は声を絞り出すようにして言うのでした。

ザンビア滞在中に、これと同じような話を私たちは何度も耳にすることになりました。それでも、希望はあります。ザンビアでマラリアと闘う「マラリアのないザンビアのためのパートナー」が大規模プログラム補助金初の対象として選ばれ、人々の命を救っています。ザンビアの二つの州では、2,500人のボランティア医療従事者が地域社会から選出されています。彼らは医療を必要とする人々へ医療を届けるための訓練を受け、マラリアやその他の疾患を診断し、治療することができるようになっています。

次週のプログラム	第2538回	12月9日
客話：「高松市医師会のご紹介」高松市医師会会長 伊藤輝一様		
担当者	プログラム委員会	例会場 JRホテルクレメント高松